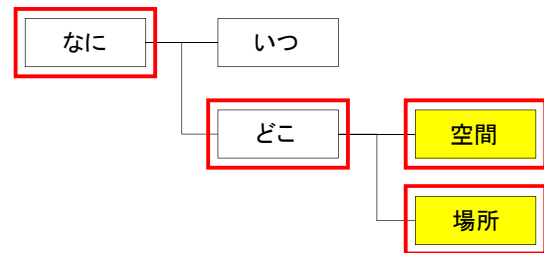


## 人間の心理と場所との密接な関係

人間行動学概論Ⅱ 第6週



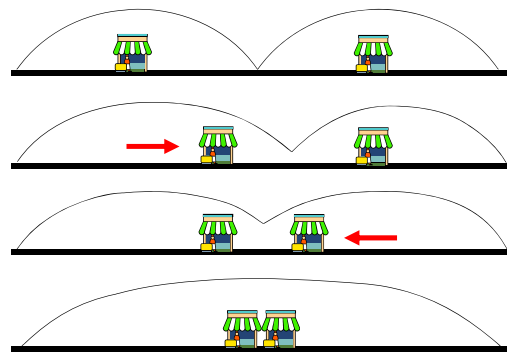
▶ 2

### 地理学における空間分析の展開

- ▶ **地誌学の伝統**
    - ▶ 地域の個性を記述 (所変われば品変わる)
  - ▶ 「科学」への指向性 (1950年代～70年代)
    - ▶ 客観性・法則性・予測可能性を求める
    - ▶ 数理的モデルの構築 (**計量革命**)
- ↓
- 自然や社会に存在する**空間秩序**の発見

▶ 3

### 海岸のアイスクリーム売り: **ホテリングモデル**



▶ 4

### ▶ 三つの前提

- ▶ 海水浴客にアイスクリームのメニューに好みがない。
- ▶ 海水浴客は近い店でアイスクリームを買う。
- ▶ 海岸の海水浴客の混雑は均等である。
- ▶ **商店の立地戦略と集積のメカニズム**
  - ▶ 空間経済学からマーケティングへ
  - ▶ 人間の合理的行動 (損得計算) を前提に店舗をその収益を最大化させる場所に配置できる

▶ 5

### マーケティングへの活用 (マクドナルドの場合)



<http://www.mcdonalds.co.jp/corporation/landowner/mcgis.html> (accessed in May 2002)

▶ 6

## 空間分析への批判

- ▶ 人間中心・社会変革の視角(1970年代頃～英米で)
  - ▶ 公民権・反戦・学生運動などを経て社会矛盾への学問的接近
- ▶ 空間分析での**人間不在**。空間だけの属性で現象を説明しようとする(**空間分離主義**)。

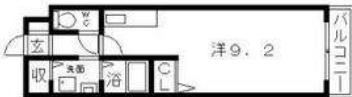
▶ 7

## 空間から場所へ

- ▶ **空間(space)**
  - ▶ 抽象的、一般的、客観的
- ▶ **場所(place)**
  - ▶ 具体的、個別的、主観的
  - = 平均(均質)化されない固有のもの
  - = 原則的にコピーしたり、代替できない
  - ▶ 人間の「**生きられた経験**」から場を見る

▶ 8

## 市大近辺のワンルーム・マンション



<http://house.goo.ne.jp/rent/ap/detail/1/27120/060H000081293731/083040004/a007466977.html>

▶ 9

## 空間のとらえ方(1)

- ▶ 交通(沿線/駅/バス停) = JR阪和線杉本町
- ▶ 所在地 = 大阪府大阪市住吉区山之内3
- ▶ 賃料/管理費等 = 5.5万円/4000円
- ▶ 礼金/敷金 = なし/9万円
- ▶ 間取り/広さ = ワンルーム/25.25㎡
- ▶ 物件タイプ/築年月 = マンション/05年11月

▶ 10

## 空間のとらえ方(2)

- ▶ 下宿生の方は入学前にどうしたか教えてください
- ▶ 今その部屋はどうなっていますか

▶ 11

## Google「私の部屋」画像検索



▶ 12

## 場所と日常生活

- ▶ 家
  - ▶ わが家＝父母・兄弟姉妹、**部屋**
- ▶ 近隣
  - ▶ ご近所＝近隣の人々、友人、**学校、町並**
- ▶ 町・村
  - ▶ 生まれ故郷＝親族、知人、**町並、繁華街、景色**
- ▶ 国家
  - ▶ くには＝**景色**、文化、言葉、国旗

▶ 13

## 場所の感覚

- ▶ 意味
    - ▶ 特定の物理的場所と関連して、人間が経験、表現、そして議論する愛着や嫌悪の感情
    - ▶ 「あの場所が好き」、「あの場所には戻りたくない」
- ↓
- 特定の出来事・記憶とのつながり**  
**それを土地から切り離せない**

▶ 14

## 伝統的な農村景観



▶ 15

## 近代的空間利用：圃場整備事業



滋賀県水口町

▶ 16

## 棚田(＝文化的景観)の保存



棚田(大阪府千早赤阪村)

▶ 17

## モニュメント

- ▶ 特定の場所で発生し、**社会的記憶**の中に痕跡を止めるような重大な出来事と関係
- ▶ **誰**にとってどのような意味があるのか
- ▶ 記憶の評価をめぐる論争(例：原爆ドームの世界遺産登録、グラウンドゼロのモニュメント化)

▶ 18

グラウンド・ゼロ(ニューヨーク)



▶ 19



▶ 20



▶ 21



▶ 22



世界貿易センター・  
メモリアル・コンペ  
最優秀作品  
Reflecting Absence

<http://www.wtcitememorial.org/fin7.html>

▶ 23



[http://www.fodors.com/news/story\\_4778.html](http://www.fodors.com/news/story_4778.html)



<http://yesteryearremembered.com/?p=5679>

▶ 24

## 場所の保存

- ▶ 記憶のよりどころとして、場所をどう保存するか
  - ▶ 地域的アイデンティティ(帰属意識)の構築
  - ▶ 歴史的町並みの保存
  - ▶ コミュニティ・自治体・政府などが歴史的建造物(群)などを保存する

▶ 25

## 産寧坂(京都)



▶ 26



富田林市(興正寺別院寺内町、16世紀)

▶ 27



地元住民によるボランティアガイドと観光客(富田林市)

▶ 28



吹田歴史文化まちづくりセンター「浜屋敷」(吹田市高浜)  
<http://tansinawaji.blog108.fc2.com/blog-entry-286.html>

▶ 29



吹田市高浜

▶ 30

なぜ今場所の「らしさ」なのか？

- ▶ 失われゆく場所へのノスタルジア
  - ▶ 記憶やアイデンティティのよりどころ
- ▶ 場所が均質化していくことへの抵抗
  - ▶ 近代化による空間利用の効率化の結果
- ▶ 地域的個性の商品化(観光・まちおこし)
- ▶ 変化に対する保守的態度
  - ▶ 場所の本質化=異質なものの排除(移民排斥)
  - ▶ 地域安全マップ(犯罪企図者排除)?

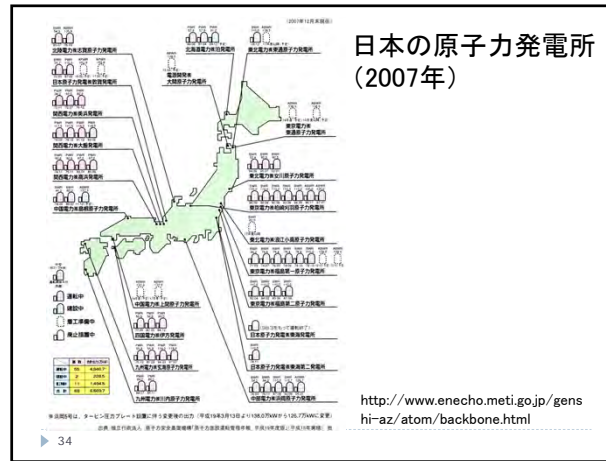
場所にかかる変化

- ▶ 近代化の進展
  - ▶ 空間の効率化・均質化
  - ▶ 域外企業・資本の活動拠点化
- ▶ 冷戦後のグローバルゼーション
  - ▶ 経済の流動化と生活様式の多様・均質化
- ▶ 場所の反応
  - ▶ 日常生活に根付いた場所の保持
  - ▶ 新しい場所の創出(記憶化、商品化、観光化)

↓  
空間(機能的利用)と場所(生活経験・固有性)との緊張

立地をめぐる紛争

- ▶ 原子力発電所
  - ▶ 軍事基地(沖縄の場合)
- ↓
- 外的な立地の論理(=「有利」な位置、空間の有効利用)と住民の生活権(場所の感覚)
- ▶ 補助金、税収、雇用との引き換え



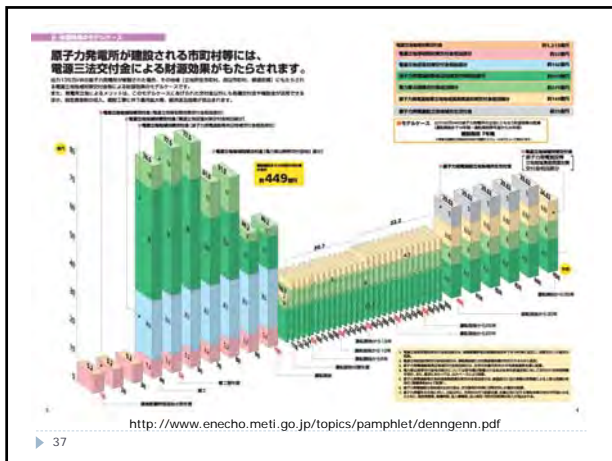
原子力発電所の立地(3.11以前)

- ▶ 国のエネルギー政策=原子力依存(31%)
  - ▶ 発電所の構造的な要請=土地、海水
  - ▶ 電力消費地(都市、中央)  
電力供給地(農村、地方)=「有利」な位置
- ↓
- 事故の可能性(環境問題) ⇔ 税収・雇用
- ↓
- ▶ 原発反対運動(場所の反応)=立地紛争



美浜発電所のすがた  
豊かな自然と美しい海に囲まれた美浜発電所は、関西電力で初めての原子力発電所。昭和45年大阪で開催された万国博覧会に日本で初めて原子の灯を送りました。現在は1号機、2号機、3号機あわせて166.6万KWの電気を発電しています。(ただし、2004年8月に11人が死傷する「史上最悪」の事故発生)

<http://www.kepco.co.jp/pr/mihama/mihamhat.htm>

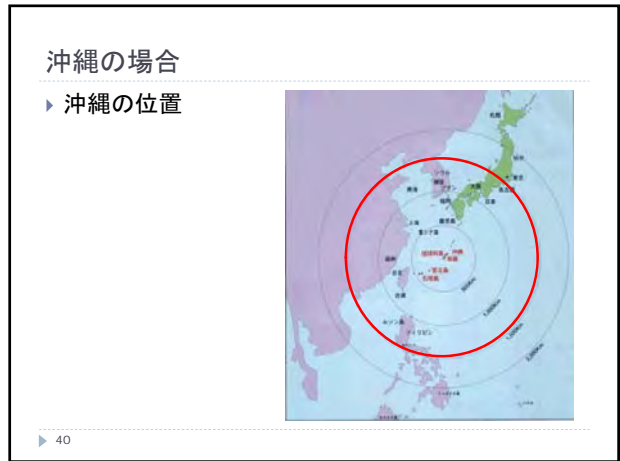


山口県上関原発の反対運動にご協力を！

瀬戸内海の美しい海が  
数ヶ月後にも埋め立てられようとしています。  
これを阻止するために、皆さんの力をお貸し下さい。

山肌を削り、この湾を埋め立てる計画です。祝島から見た上関原発予定地

http://stop-kaminoseki.net/shiryo/message20080722.pdf



### 1995年の出来事

- ▶ 少女暴行事件
- ▶ 日米地位協定の問題点
  - ▶ 米軍人を保護、犯罪者の身柄拘束が困難
- ▶ 大規模な抗議行動(1995年)
  - ▶ 「基地のない平和な島を返せ」(場所の反応)
- ▶ 日本初の県民投票(1996年)
  - ▶ 県民の過半数が基地の整理縮小と地位協定の見直しに賛成

▶ 43

### 県民総決起大会(1995)



▶ 44

### ついに基地が動く!?

- ▶ 日本政府の対応
  - ▶ 段階的返還(SACO合意)
  - ▶ 普天間基地の移設→どこへ?
- ▶ 名護市(移設先)の反応
  - ▶ 市民投票(1997)→移設反対(生活環境保護)
  - ▶ 補助金による地域振興(空間利用)と環境保護(場所保存)が対立
  - ▶ 2010年の市長選挙・市議員選挙で初めて移設反対派が優位に→移設は暗礁に

▶ 45

### 名護市 辺野古



▶ 46

### 名護市民投票をめぐって



▶ 47

### 国立沖縄工業専門学校(2004年開学)



▶ 48



### 辺野古での座り込み(2004年～)



▶ 49

### 「どこに」をめぐる問題群

- ▶ 空間としてとらえるか
  - ▶ 抽象的、一般的、客観的、利用対象
  - ▶ 領域(人間の制御手段)としても作用
- ▶ 場所としてとらえるか
  - ▶ 具体的、個別的、主観的、生活の場
  - ▶ 空間からの・への変化形態でもある
- ▶ この二つのとらえ方の間に緊張
  - ▶ 「どこに」をめぐる社会の動態を生み出す＝地理学の今日的な課題
  - ▶ この続きは「地理学概論I」(来年後期)で

▶ 50